

就労支援事業者機構から

沖縄県就労支援事業者機構は就労を通して再犯防止に貢献する事を目的に全国の経済界が中心となり設立した民間のNPO法人で全国に50力所、各都道府県の保護観察所と同地域に設立されております。

更生保護施設がじゅまる沖縄の2階「沖縄更生保護センター」内に事務所があることから、入寮者の居住空間での生活面も垣間見ることが出来ます。知識や技術面だけではなく他者との関わり方や感情・行動のコントロール等、その人の人間力に触れる機会があり就労支援をする上で参考になることが多々あります。直ぐに、就労や就職に結び付く支援者もいる一方、就労以前の問題を抱えている方々も多く、時間を要します。又、仕事に就いても定着しないケースもあり、改めて周りの理解と協力、さらに本人の人間力を高める必要性があると感じております。その為息の長い支援が求められます。



退所者の声

K・T

再犯防止するには、まず仕事。

定職につくことが一番大切なことだと思う。人間お金がない時は、いろいろ悪い考えしか頭にうかんでこない。ラクをしてお金がない手に入らないかなど、なんでも自分のいい方に考えてしまう。人間の悪いくせで楽な方に自分をもっていこうとする考えがでてくる。もちろん働いていけば、なんとか生活できるお金は自分に入ってくる。収入が少なければそれに合った生活をしていけばいいだけで、むりをして金を使う必要もない。

更生することによって再犯をくりかえさない、する必要もない。

まず、交友関係をしっかりと考える必要があると思う。友だちをかえてみたり、自分の好きな事に熱中してみるのもいいと思う。友だちとたのしくあそぶのもいいことだけど、その友だちから何かたのまれた時イヤと思ったら、すなおにことわることも大事だ。それで関係がまずくなくても、それはそれでいい。

これから先、自分はぜったい再犯しない。今までの自分のやってきた行動をふりかえり新しい生活をはじめ、そして、社会ルールを

守りしつかり生活していく事でいままでもいいわくをかけてきた人たちをうらぎらないようにしていくことがこれから自分にとって大切な事だと思う。

職員の方々にはいろいろお世話になりました。私たちには、この施設の生活で更生するための力になったと思います。

食堂のおばさんたちにもいつもおいしい食事を作ってくれたことに感謝しています。(ありがとう)

毎月一回の集団処遇

再犯防止に向けた勉強会

当施設では、寮生の再犯防止、自立更生に向けた集団処遇として、令和六年十一月から毎月一回、全員を対象に二グループに分けて、事件を振り返りながら依存症や再犯防止に関する勉強会を行っています。

最初は「自分は依存症じゃない、関係ない」と拒否的な人もいましたが、最近では、再犯しないための意識づけや、今後の生活を考え、いく上で役立つという意見もあり、活発なコミュニケーションがとれるようになってきました。教材はSMARTのテキストや各種DVD、ネット動画等も活用し、寮生の興味関心を引き出すよう工夫してい

ます。

今後様々な社会資源を利用しながら、寮生とともに再犯防止に努めていきたいと思ひます。

カレーの日

「カレーにしてね!母さん」とついつい口ずさみたくなるほど多くの日本人が大好きなカレー。

当施設では、毎週水曜日がカレーの日となっております。その日は、午後からおいしいそうなカレーの香りが寮内を漂い、普段はあまり夕食を摂らない寮生も、食堂へ来ておいしそうにカレーを頬張っています。

厨房の二人のマドンナも「今日は一番おいしいカレーを作るサー!」と腕まくりで頑張つて調理しています。

来週はどんなカレーが食べられるか?とても楽しみな水曜日「カレーの日」です。

